

# 「越後いたこ唄」

越後いたこ同好会

上越では代々伝わって唄い踊り継がれた郷土色豊かな「越後いたこ唄」（盆踊り）を復活させようと、「はす祭り」の一環で「いたこ唄・踊り日本一大会」が開かれました。

「越後いたこ」は上越地方に古くから伝わって、「おっぴよ」「チヨコ節」「秋田音頭」などと共に、全国的に有名な性歌だそうです。その由来については、「茨城県潮来地方の舟歌として発生し、後にお座敷唄として歌われ、文化、文政ころ江戸をはじめ、全国的に流行した「潮来節」が、当時の「せや船頭たちによって、頸城地方に伝えられた」（高田市史）というのが通説とされています。

しかし、郷土史家の小山直嗣氏によれば、江戸時代に流行した「潮来節」とは全く異質なものであるし、現在北利根川の北岸で歌われている「潮来音頭」「潮来甚句」とも曲調が違うので、一連の歌詞だけを移入して、地元の盆踊り唄の曲調にあてはめて歌ったもので、「潮来節」と

は全く無関係のものだと思ふとされています。

「越後いたこ」は日本海沿岸で発生した舟歌で、最初「板子」と呼ばれていたのが、いつの間にか陸に上がつて盆踊り唄となり、口寄せ唄の意味も加わって「イタコ」に転化、潮来節の歌詞の移入によつて文学的な「潮来」になつたのであらうと、小山氏は推測されています。そして、「越後いたこ」の発生当時の歌詞は全く不明で、現在歌われているものは、江戸時代末期の一部を除く大部分は明治から大正時代にかけて、歌い手であり踊り子でもあつた青年男女によつて創作されたものや、他の民謡の歌詞を移入してあてはめたものと言われます。

た。親から世俗に染まつてはいけなないと叱られながらも記憶に残つた艶歌や性歌を送つてくださった方や、「Jネットだより」に書いた代表的な歌詞に触発されて口ずさむ義父の歌詞を聞き書きで十編もお知らせくださった方など様々です。いずれ小冊子にする時期が来ましたらご案内させていただきますが、ここに紙幅の許す限り歌詞を記載して、お礼に代えさせていただきます。

ありがとうございます。

田舎ながらも 金谷の華師

森の高田を目の下に

\*コラサット ドッコイサット

(手拍子) バンバン

又は、ドンドンドンドン ドンドン、

コリヤコリヤ コリヤサア

越後高田にすぎたるものは

大寺同心時の鐘

花見するなら 高田に來ない

あねちやおばちやの雪の肌

太鼓ドンとなりや 寝た目もさめる

太鼓ドンとなりや 寝た目もさめる

起きて 格子にすがりつく

今年しや豊年 穂に穂が咲いて

杵を捨て置き 菱ではかる

今年しやこうでも また来年は

道の小草にも 米がなる

唄え唄えと せめかけられて

歌が出ないで 汗がでる

蕎麦は三角 やぐらは四角

おらの踊りは 丸くなる

歌が十ありや 九つまでも

色の混じらぬ唄はない

姉ちや來ない 餅もつて來ない

わしの袂に 砂糖がある

いたこ踊りて 夜が明ける

いたこ踊りて 夜が明ける

いたこ踊りて 夜が明ける

いたこ踊りて 夜が明ける

太鼓ドンとなりや 寝た目もさめる

明けて来年 なじよたやあら

嫌なものなら 何故あの時に

堅い私を 迷わせた

来るか来るかと川下見れば

川原柳の影ばかり

あなた川西わしや川東

中の関川 ままならぬ

月はまんまる 出ているけれど

主に逢わなきや 真の闇

真の闇でも まよわぬ私

どうしてあなたに まよたやら

下手な剣術 のろまな夜道い

いつも竹刀(しな)い でたたかれる

一夜でもよい あの主さんと

朝日さすまで 寝てみた

月のちよいと出を 夜明けと思ひ

主を帰して 気にかかる

惚れているのか あなたの癖が

いつか私の 癖になる

惚れた ほの字が 二字あるならば

一字煎じて 飲ませたい

惚れて通えば 千里も一里

会わず帰れば 又千里

惚れた証拠に あれ見やしやんせ

そばそばと 寄りたがる

そばそばと 寄りたがるくせに

手を出しや 嫌だとぬかしやがる

おらが若いときや 仙納まで通つた

中の一の谷 なけりやよい

中の一の谷 あつても良いが

外の木戸口 なけりやよい

おらも若いときや 七村通つた

今じゃ七村の 名も知らぬ

おまえ背の松 わしや谷の藤

心あれども 絡まれぬ

前の姉ちやの 着物の柄は

どの兄ちやの 見立てやら

娘かわいや 正善寺育ち

竹の子召すかの 声の良さ

踊り見に来て 踊らん奴は

早くシヨンへして 寝るがいい

踊り見に来て 踊らん奴は

早く家へ帰つて 寝るがいい

踊り来たのか 立ち見に来たか 個々は

立ち見の場所じやない

踊り踊るなら 品良く踊れ

品の良い人 嫁にやる

踊つてくれない 他所だて何だ

暗なりや 苦勞をよめゆる

よしまかせせは どこから流行つた

わけてこの町 なお流行る

兄んちや何処行く 草鞋んがけで

可愛いあの子の 毛だし買ひ

(腰巻)

毛だし買つてきて 広げてみたら

紫とらりめんの 模様付き

帯に短し 袴(たすき)にや長い

あの娘孕んだらう 腹帯に

お前百まで わしや九十九まで

ともに白髪 生えるまで

うだつ屋

龍

**JAえちご上越**

私達は掲げに向ける  
専らして農業を続け  
専らして地域社会づくりに  
めざします。

地域のため 皆様のため くらし応援します

**JAえちご上越農業協同組合**  
〒943-0817 新潟県上越市藤巻5番30号  
TEL 025-527-2001 FAX 025-527-2009

**おかげさまで1周年**

〒943-8799  
上越市大手町3-21

**高田郵便局**  
局長 太田 稔

会の運営に  
ご協力いただいている  
**特別賛助会員**です。

**上越市リフレッシュレゾナンス事業**

キーワードは  
自然・食・健康・癒しです

スキー発祥地「金谷山」の  
ランドマークレストラン  
**ヨードル金谷**  
緑蔭野オーストラリアのヨーロッパ  
テイストいっぱい。「カジョアルタ  
イニング」スタイルのレストラン  
TEL 025/523-0688

「特産品再発見」と  
加工体験  
**正善寺工房**  
・上越市の特産品加工販売  
・加工体験施設の貸出と  
イベントの開催  
TEL (025) 523-0621

バナの森に抱かれた、静寂の温泉・宿泊エリア  
**わどり湯つたり村**  
・温泉 料金 大人500円 小学生300円  
・宿泊 1泊2食 大人 8,000円～  
小学生 5,000円～  
TEL (025) 541-2611 FAX (025) 541-2616

管理運営  
**リフレ上越山里振興株式会社**

**おかげさまで100周年**  
FUKUDA CORPORATION

**株式会社 福田組**  
代表取締役副社長 荻部 隆  
営業本部長

東京本社  
〒162-8411 東京都新宿区市谷本村町3-26  
TEL 03-3269-4711 F AX 03-5261-5387

**上越を読む**

月刊 **JACK LAND**

TEL 025-524-4275 FAX 025-524-4451

おねがい

編集後記

妙高山に初冠雪の知らせが届き、続いて、白く化粧した山頂の写真がメールで送られて来ると急に上越を想い起します。このような時、会報の編集をしていると一層懐かしさが増します。

Jネットが6年目になった矢先、上越市の東京事務所が閉鎖になりました。事務局が本庁に移り運営に危機感もあつたのですが、皆様方からの支援で会報も主体的に発行できながらになりました。今回の会報は、会員の多くの方からの投稿を中心にしたものとなっております。皆様それぞれ思いで書いていたと思いますので、いろいろと面白い話が多く編集の傍ら楽しませていただきました。たくさんのご寄稿ありがとうございました。

編集委員は皆ボランティアですのでなかなか時間がとれず、その結果校正さえなごがあるかも知れませんが、ご容赦いただければ幸いです。

また、今後とも会報をはじめJネットの活動にご協力くださるようお願いいたします。

Jネット運営委員 岡村博己

■ 会員募集のお知らせ

Jネットも6年目を迎え、これからますます充実した活動を行うためにも、より多くの方にネットワークに参加していただく必要があります。是非、皆さんのご親戚やご友人にJネットをご紹介ください。

■ お届け先が変更になった方はお知らせください

転居により住所が変更になった場合は、新住所を事務局までお知らせください。(電話、FAX、E-mailでも結構です。)

■ 皆さんの声をお聞かせください

ふるさとに寄せる思いや思い出など皆さんからのお便りをお待ちしています。また、Jネットの運営に対するご意見ご要望も合わせて募集しています。



創業明治23年  
伝統の味  
岩の原ワイン

～日本の本格的ワイン発祥の地～

株式会社 岩の原葡萄園

TEL 025-528-4002 新潟県上越市北方1223番地

URL <http://www.iwanohara.sgn.ne.jp/>

日本の本格的ワイン発祥の地『岩の原葡萄園』は、明治23年の創業以来、3世紀にわたって高品質のワインを世に送り出してまいりました。お蔭様で上越市の代表的な特産品として、多くの方にご愛飲いただいております。さて、弊社では、遠方にお住まいでお近くに岩の原ワイン取扱店がない方に向けて、『岩の原ワイン みゆき会』の会員を募集いたしております。ワイン1万円(税別)以上のご注文で送料無料、ご入会プレゼントや、お買上げのポイントによるプレゼントなど、色々の特典がございますので、Jネット会員の皆様も是非ご利用下さい。

お問合せ

株式会社岩の原葡萄園 025-528-4002

皆様のお宅まで  
ふるさとを  
お伝えします。

講読料  
2,575円(郵送料込)

日刊 上越タイムス  
0120-17-4243

習日、お宅に届きます。

①皆さんの情報をお寄せください。

上越タイムス社では、Jネット会員の皆様の各種情報を求めています。ふるさとを離れてご活躍されている皆様の記事を記事で応援します。よろしく願います。

②11月20日、居多神社宮司の花ヶ前盛明氏著の「上越の史跡と人物」を発行いたします。

上越地方125の史跡と人物の謎に迫る1冊です。  
ぜひこの機会にお読みください。定価1,900円+税(送料含まず)

①②とも、ご連絡先は025-525-6666まで

●発行

ふるさと上越ネットワーク事務局(上越市総務企画部 企画課内)

〒943-8601

新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111 FAX.025-526-6111

E-mail: j-net@ml.city.joetsu.niigata.jp

運営委員会事務局

〒150-0011

東京都渋谷区東1-26-30 渋谷イーストビル

(株)社会システム研究所内

TEL.03-3499-8299 FAX.03-3486-0986

【情報をお待ちしています】 TEL.025-526-5111(Jネット事務局)

